

展 覧 会 名	開催期間	有 料									無 料		観覧者 総 計
		個 人				団 体				有 料	無 料・招待等		
		一 般 大学生	高 校 生	小 学 生 中 学 生	小 計	一 般 大学生	高 校 生	小 学 生 中 学 生	小 計	合 計			
1 肉筆浮世絵名品展	4.27～6.2 32日間	23,138	366	961	24,465	1,160	35	75	1,270	25,735	2,561	28,296	
2 福島美術・昭和の あゆみ展	6.8～7.14 32日間	3,228	20	122	3,370	856	0	11	867	4,237	1,188	5,425	
3 アメリカン・モダン の旗手たち展	7.20～8.18 26日間	※(33) 3,839	※(2) 130	※(3) 552	※(38) 4,521	※(0) 371	※(0) 0	※(0) 0	※(0) 371	※(38) 4,892	※(21) 843	※(59) 5,735	
4 抽象絵画の創造力展	9.14～10.20 31日間	2,760	57	171	2,988	707	275	188	1,170	4,158	646	4,804	
5 モーリス・ヴラマンク 展	11.2～12.8 32日間	7,304	140	324	7,768	931	165	181	1,277	9,045	1,461	10,506	
6 村山槐多展	2.22～3.30 31日間	5,995	79	238	6,312	440	0	0	440	6,752	1,241	7,993	
小 計	184日間	46,264	792	2,368	49,424	4,465	475	455	5,395	54,819	7,940	62,759	
合 計		56,127	971	3,325	60,423	8,172	1,250	2,576	11,998	72,421	15,251	87,672	

※1 企画展観覧券で常設展を観覧(外数)

※2 企画展観覧券で常設展を観覧(内数)

※3 夜間観覧者(内数)

第4節 調査研究事業

美術館活動の充実を図るとともに、美術情報センターとしての機能充実のため、作家や、作品をはじめ、保存、展示、教育普及等の調査研究および情報の収集を行った。

(1) 調査研究事項

- ①作家 ②作品 ③技法 ④美術史 ⑤保存
⑥教育普及 ⑦展覧会 ⑧運営 ⑨県内外の展示施設
⑩美術館利用者の動向他

(2) 重点調査研究事項

- ① 福島県出身作家の基礎調査
② 幕末～近代の福島美術調査

第5節 普及事業

美術の表現と鑑賞の喜びをより深めるために、さまざまな事業を行った。

1 講演会の開催

期 日	演 題 / 講 師	聴講者数
5 / 12 (日)	「浮世絵のはじまり」 辻 惟雄(千葉市美術館長)	180名
9 / 23 (月)	「彫刻が都市をつくる時代」 井上武吉(彫刻家)	120名
11 / 2 (土)	「ヴラマンクの人と芸術」 マイテ・ヴァレス＝ブレッド (前シャルトル美術館長)	170名
3 / 9 (日)	「槐多と私」 窪島誠一郎(信濃デッサン館 館主)	270名

合計：740名

2 映画会の開催

講堂において、午前・午後の2回上映

期 日	上 映 映 画	入 場 者 数
4 / 21	幕末太陽傳	50名
5 / 19	歌麿をめぐる五人の女	300名
6 / 16	キートンのカレッジ・ライフ	80名
7 / 21	チャップリンの黄金狂時代	100名
8 / 18	ニューシネマパラダイス	150名
9 / 15	甘い生活	60名
10 / 20	ル・ミリオソ	80名
11 / 17	自由を我等に	90名
2 / 16	あらかじめ失われた恋人たちよ	50名
3 / 16	八月の濡れた砂	50名

合計：1,010名